



— 日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊 ニュース

2010年5月30日 No.709

事務所:品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674

このニュースへの
ご意見やご質問を
お寄せください。



共産党 品川

検索

品川区と
消防合同

水防訓練を実施しました

台風シーズンを前に住民参加で



ポリタンクを利用した防水工法の点検を受ける町会ボランティアの方々

5月23日(日)、雨の中を西大井広場で品川区と第二消防方面本部・各消防署・消防団合同で水防訓練を行いました。毎年、台風や集中豪雨の時期を前に行われてはいますが、今回は初めて大型ビジョンによる訓練の中継、防災ヘリコプターも参加しました。

今回の水防訓練は、台風の接

近により品川区内で局地的に集中豪雨が発生して地盤の低い地域で浸水被害が多発。また、断続的な豪雨により立会川が越水の危険が生じ、マンホールから雨水が噴出し家屋に浸水被害が発生したという想定で実施しました。品川区と消防署、消防団、品川建設防災協議会、東京都下水道局、町会、ボランティアの方々合計446名が参加。緊張感のある訓練となりました。

写真は、水入りポリタンクを並べ全体を防水シートでくるんだ防水「壁」。他にプランターの利用や水を入れたビニール袋を段ボール箱に詰めて防水シートでくるむ工法などにボランティアの方々が取り組みました。

施設整備
不十分

ゲリラ豪雨の原因： 巨大ビル建設は見直せ

地域住民も参加した水防訓練は年々取り組まれていますが、施設整備はどうなっているでしょうか。近年、ゲリラ豪雨など都市型集中豪雨が多発。抜本的な対策強化とまちづくりの見直しが求められています。

1999年と2002年の集中豪雨の際、私(みやざき)は雨の中を浸水が発生した立会川流域の二葉地域を調査。五反田の目黒川で成果を上げた「調節池」(荏原青果市場跡・都営住宅の地下)を立会川流域の対策として西大井広場地下にも設置するよう議会で提案してきました。これに対して東京都の対策は西大井広場への調節池でなく立会川の排水能力を強化する第2立会川幹線の設置でした。

「50mm対応」はレベルアップを

しかし、問題は第2立会川設置も「1時間あたり50mmの降雨」に対応する施設だということ。戸越銀座商店街で工事中の戸越幹線も同じ「時間50mm」対応ですが、「時間50mm」対応では間に合わなくなっています。「時間50mm」とは「バケツをひっくり返したような大雨」のことです。統計上は3年に1回降る雨を超え、近年時間50mmを超える集中豪雨やゲリラ豪雨が頻発。大きな浸水被害が生じた99年は最大降雨量が時間77mm、02年は時間64mmでした。いま、

調整池設置を含めた、「時間50mm」を超える降雨対策の抜本的強化が求められています。

ゲリラ豪雨は巨大ビルが原因

さらに、ゲリラ豪雨の原因が巨大ビル群によるヒートアイランド現象にあると指摘されていることです。巨大ビルの足元で水害とはまちづくりが間違っています。品川区は大規模開発を抜本的に見直すべきです。

環境対策特別委員会を設置することになりました

今年度、品川区議会は環境対策と行財政改革の二つの特別委員会を設置することにしました。



特別委員会とは、総務、厚生、建設など条例で所管が決められている常設の常任委員会と違い、必要に応じて議会側の発議で設置する委員会です。その時々的重要な問題を調査・研究しています。

日本共産党区議団は、今年度の特別委員会について、①CO2削減と自然エネルギーの普及、エコ産業育成を調査する「地球温暖化対策」と、②保育園待機児解消対策を調査する「保育園待機児解消」の二つの特別委員会の設置を提案していました。今回設置されることになった環境対策特別委員会には共産党区議団の提案も盛り込まれました。

お困りのときは お気軽にご相談ください

- くらし・区政の相談はいつでも受け付けます。
- 無料法律相談は6月18日(金) Pm6:30~です。
弁護士が対応します



日本共産党 **みやざき克俊** 事務所
品川区豊町6-2-1 TEL3786-6674